

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グリス

コード番号 3150 URL <http://www.gremz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 政臣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 阿部 嘉雄

TEL 03-5769-3500

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,471	5.4	146	△12.4	148	△13.3	56	△14.6
26年3月期第3四半期	4,241	10.0	167	703.9	171	552.7	66	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 56百万円 (△16.5%) 26年3月期第3四半期 68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	15.69	15.51
26年3月期第3四半期	19.55	19.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,215	1,982	61.2
26年3月期	3,091	1,553	49.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,968百万円 26年3月期 1,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,592	14.0	505	81.7	500	70.8	267	73.7	74.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	3,881,800 株	26年3月期	3,493,600 株
27年3月期3Q	70,622 株	26年3月期	70,622 株
27年3月期3Q	3,592,374 株	26年3月期3Q	3,376,104 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成26年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。
3. 当社は、平成26年9月3日付で株式会社エナリスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が211百万円、資本準備金が211百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が599百万円、資本準備金が337百万円となっております。詳細は、添付資料2. 四半期連結財務諸表(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、各種の経済政策や金融緩和による効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、個人消費の弱さや海外景気の下振れなど、不安定な要素を抱えています。

このような経済状況の中、当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、スマートハウスプロジェクト事業において、住宅用太陽光発電システム等のエネルギー関連商品の販売や、4月より開始した再生可能エネルギーの開発、エネルギーコストソリューション事業において、電力基本料金削減コンサルティング、LED照明の販売及び4月より開始した電力料金の削減を目的とした電力の調達改善を行う代理購入サービスなど、創エネルギー、省エネルギー及び蓄エネルギーといったエネルギーに関連する様々な商品・サービスを提供し、電力自由化を見据えて積極的な事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,471百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益146百万円(前年同四半期比12.4%減)、経常利益148百万円(前年同四半期比13.3%減)、四半期純利益56百万円(前年同四半期比14.6%減)となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度において、新規事業の創出を行う事業をその他事業として区分していましたが、第1四半期連結会計期間より「インキュベーション事業」として報告セグメントに区分しております。

## 〔スマートハウスプロジェクト事業〕

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、九州地方・中国地方での地域中核店舗となる「京セラソーラーFCイオンモール福岡」を西日本最大級のショッピングモールであるイオンモール福岡に出店することで顧客基盤の拡大を図り、蓄電池の販売を推進するなど、積極的な事業展開を行ってまいりました。また、4月からは再生可能エネルギー開発事業における売電収益を計上しています。その結果、スマートハウスプロジェクト事業の売上高は2,497百万円(前年同四半期比14.1%増)、セグメント利益は148百万円(前年同四半期は29百万円の損失)となりました。

## 〔エネルギーコストソリューション事業〕

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力基本料金削減コンサルティングによる電子ブレーカー販売については直販・代理店販売ともに堅調に推移し、LED照明の販売については好調に推移しております。また、4月より電力代理購入サービスの新規開拓を開始しており、受注を毎月伸ばしておりますが、新商材の販売体制構築に伴う費用負担があることから、エネルギーコストソリューション事業の売上高は1,956百万円(前年同四半期比4.6%減)、セグメント利益は325百万円(前年同四半期比33.2%減)となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間においてセグメント利益に含めていた持分法による投資損益については、平成26年3月31日付で持分法適用関連会社であった株式会社ネオ・コーポレーションの株式一部譲渡により持分法の適用除外となったため、セグメント利益には含まれておりません。

## 〔インキュベーション事業〕

インキュベーション事業は、新規事業の創出を行う事業として、平成25年11月設立の株式会社グリムスベンチャーズが行っておりますが、現在の主な事業内容はWebサイトを利用した商品販売であります。インキュベーション事業の売上高は27百万円、セグメント損失は21百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。固定資産は579百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が49百万円、工具、器具及び備品が14百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は3,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は907百万円となり、前連結会計年度末に比べ310百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が75百万円、短期借入金が75百万円、1年内返済予定の長期借入金が76百万円、未払法人税等が110百万円減少したことによるものです。固定負債は326百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務が12百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円増加いたしました。これは、主に第三者割当増資により資本金が211百万円、資本剰余金が211百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

なお、平成26年5月12日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,677,179	1,591,658
売掛金	518,937	485,624
商品	294,561	267,907
繰延税金資産	38,976	31,879
その他	49,502	257,845
流動資産合計	2,579,157	2,634,915
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	94,674	101,764
機械及び装置(純額)	70,000	69,288
車両運搬具(純額)	19,005	18,740
工具、器具及び備品(純額)	51,171	65,203
有形固定資産合計	234,850	254,996
無形固定資産	33,474	33,107
投資その他の資産		
投資有価証券	47,985	97,905
敷金及び保証金	158,571	164,254
その他	37,267	28,881
投資その他の資産合計	243,824	291,042
固定資産合計	512,149	579,146
繰延資産	—	1,902
資産合計	3,091,306	3,215,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	327,829	252,422
短期借入金	100,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	350,412	273,752
未払金	293,616	281,835
未払法人税等	118,351	7,942
引当金	4,351	13,692
資産除去債務	1,237	—
その他	22,081	52,517
流動負債合計	1,217,878	907,161
固定負債		
長期借入金	300,768	291,734
資産除去債務	16,087	28,099
その他	2,651	6,345
固定負債合計	319,507	326,178
負債合計	1,537,386	1,233,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,680	599,249
資本剰余金	126,293	337,862
利益剰余金	1,054,799	1,059,824
自己株式	△28,382	△28,382
株主資本合計	1,540,389	1,968,552
少数株主持分	13,530	14,072
純資産合計	1,553,919	1,982,624
負債純資産合計	3,091,306	3,215,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,241,141	4,471,751
売上原価	1,975,493	2,184,704
売上総利益	2,265,647	2,287,047
販売費及び一般管理費	2,098,156	2,140,394
営業利益	167,490	146,652
営業外収益		
受取利息	457	463
受取手数料	1,814	6,169
解約手数料	1,074	1,178
訴訟損失引当金戻入額	6,000	—
その他	1,802	726
営業外収益合計	11,148	8,537
営業外費用		
支払利息	3,376	4,677
租税公課	706	1,451
持分法による投資損失	3,073	—
その他	—	447
営業外費用合計	7,156	6,576
経常利益	171,483	148,613
特別利益		
固定資産売却益	1,546	—
負ののれん発生益	368	—
特別利益合計	1,914	—
特別損失		
固定資産除却損	3,555	16,721
固定資産売却損	—	282
店舗閉鎖損失	891	8,524
補償損失	12,500	—
特別損失合計	16,947	25,528
税金等調整前四半期純利益	156,450	123,084
法人税、住民税及び事業税	109,015	49,946
法人税等調整額	△20,710	16,226
法人税等合計	88,305	66,173
少数株主損益調整前四半期純利益	68,145	56,911
少数株主利益	2,127	542
四半期純利益	66,017	56,369



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,145	56,911
四半期包括利益	68,145	56,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,017	56,369
少数株主に係る四半期包括利益	2,127	542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年9月3日付で、株式会社エナリスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が211,569千円、資本準備金が211,569千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が599,249千円、資本準備金が337,862千円となっております。